

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：保健環境研究費

事業名 岐阜県健康科学センター無停電装置改修工事

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

保健環境研究所 総務課 管理調整係 電話番号：058-380-2100

E-mail：c22614@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,450千円（現計予算額：65,340千円）

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|------------|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|--------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 現 計 予算額 | 65,340 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 58,800 | 6,540 |
| 補 正 要求額 | 10,450 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,400 | 1,050 |
| 決定額 | 10,450 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △2,000 | 12,450 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

健康科学センターでは、無停電装置のバッテリー交換から10年が経過し、期待寿命を超えていること、内部抵抗値に問題が見られるなど劣化していることから県有建物長寿命化計画に基づき、無停電電源装置の交換を予定しているところである。

令和2年度9月補正でPCR検査室を新たに設置することとなったが、昨年度の本工事設計時には、当該室が未完成であり、また、検査機器等が稼働していなかったことから、当該室全体として停電時に必要となる電力の把握等が困難であった。

そのため、検査室稼働後に再度設計を行ったところ、バッテリー容量が不足するため、より大容量のバッテリー導入の必要性や追加の配線工事を行う必要性が生じた。

(2) 事業内容

無停電装置改修工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|-----------|
| 工事請負費 | 10,450 | 無停電装置改修工事 |
| 合計 | 10,450 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県県有建物長寿命化計画

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は令和 2 年度までに個別施設ごとの長寿命化計画を策定することとなっている。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設であり、県が実施することは妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

健康科学センターの庁舎維持。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | 現在値 <small>（前々年度末時点）</small> | 目 標 | 達成率 |
|-----|-------|-------------|---------------------------------|-------|-----|
| | (H) | (H) (H) | (R) | (R) | % |
| | (H) | (H) (H) | (R) | (R) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

施設修繕の工事に係る経費のため。

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | 健康科学センターには、保健環境研究所の他、岐阜保健所が入居し、地域の保健衛生拠点施設として運営する必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) ○ | 計画的に修繕を実施することで、施設の長寿命化を図ることができる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) ○ | 修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位を定め、計画的に実施している。 |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 竣工後20年以上経過しており、設備のオーバーホール等の大規模修繕が必要となる。 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県有施設中長期保全計画により、適切な維持管理に努める。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【○○課】 |
| 組み合わせて実施する理由や期待する効果 など | |